

著 書 業 績 書

著書等の名称	単著 共著 の別	発行の年月	発行所の 名称	概要
1.介護保険制度の概要	共著	平成 11 年 10 月	医歯薬出版 介護認定審査会委員ハンドブック	介護保険法における介護認定審査会は、地域の要介護者に対して大きな責務を持っている。1次判定の結果がそのままの現状を反映していない場合もあり、認定審査会委員の総合判断力が必要とされる。本書は、その問題を解決させるために作成された認定審査員用のテキストである。 編集：遠藤英俊、見平隆、青柳公夫 執筆者：井上啓子他 9 名 執筆項目：介護保険制度の概要 2-5、事例からの認定審査会の実際 110-183
2.在宅訪問食事指導実践の手引き（在宅訪問栄養食事指導の実際）	共著	平成 11 年 11 月	発行全国在宅訪問栄養食事指導研究会	在宅訪問栄養食事指導のマニュアル本。管理栄養士が、実際に在宅訪問栄養食事指導を実践する場合に必要な事柄を丁寧にわかりやすく解説。 編集：田中弥生、川上純子、前田佳予子、松月弘恵 執筆者：井上啓子他 16 名 執筆項目：訪問栄養指導の事前準備、利用者への栄養アセスメント、訪問時になにするの？Q&A、事例など
3.透析ハンドブック第3版食生活	共著	平成 12 年 6 月	医学書院 透析ハンドブック第3版	血液透析患者向けのセルフケアテキスト。医療スタッフや患者が透析療法をわかりやすく学ぶことができるように仕上げている。 監修：小川洋史、小野正孝、編集新生会第一病院教育訓練センター 執筆者：井上啓子他 19 名 執筆担当項目：食生活 61-91
4.介護に役立つヘルシー献立100選	共著	平成 13 年 10 月	中央法規出版 介護に役立つヘルシー献立100選	生活習慣病予防をはじめとする健康回復、健康増進を目的とした、月別 8 食分の栄養バランスのよくメニューと行事食 100 食を紹介したテキストである。 監修：五十嵐桂葉、編集：西堀すき江、江口澄子、長谷川孝子、吉田明子、加藤治子、井上啓子、後藤千穂 執筆者：井上啓子他 25 名 (担当部分) 共同監修・執筆にて本人担当分抽出不可
5.わかりやすい透析食	編著	平成 14 年 1 月	ライフサイエンス出版 わかりやすい透析	新生会第一病院で行われて血液透析患者への栄養指導内容をまとめた管理栄養士、患者向けのテキスト。また、日常的に利用する食品を用い、一食の組み合わせを

6.食生活（1日の必要量とバランス、水分のとり方、塩分のとり方、カリウム・リンのとり方）	編著	平成 14 年 4 月	食 医学書院 生活と透析 これだけは知っておこう	示した献立例を 40 食分示してある。イラスト、図表も多用し、わかりやすくまとめている。監修：小川洋史 編集：井上啓子 執筆：井上啓子、平賀恵子、村上憲吾、1-153 (担当部分) 編集・共同研究にて本人担当分抽出不可 高齢で透析を導入する患者および長期透析に伴い高齢化していく患者用に作成したテキスト。透析療法を実施する上で、最低限知らなくてはならない要点をまとめている。全 16 項目のうち、食事療法に関する 4 項目（1日の必要量とバランス、水分のとり方、塩分のとり方、カリウム・リンのとり方）を執筆した。 監修：小川洋史、編集新生会第一病院教育訓練センター、 執筆者：井上啓子他 16 名 執筆担当項目：食生活 40-56
7.改定版 在宅訪問食事指導実践の手引き	共著	平成 15 年 10 月	発行全国在宅訪問栄養食事指導研究会	平成 11 年 11 月発行の「在宅訪問食事指導実践の手引き」の改訂版。介護保険制度の改正に対応できる内容に改定した。今回の改定の編集作業は、実際介護支援専門員を実務している私が主に担当した。 編集：田中弥生、川上純子、前田佳予子、松月弘恵、井上啓子、吉田倫子 執筆者他 17 名 (担当部分) 編集・共同研究にて本人担当分抽出不可
8. 栄養指導・教育論 在宅訪問栄養指導への取り組み	共著	平成 16 年 4 月	中央法規出版 栄養指導・教育論	栄養士および管理栄養士を目指す学生用に作成した栄養指導・栄養教育論のテキスト。 編集：五十嵐桂葉 執筆者：井上啓子他 25 名 執筆担当項目：在宅訪問栄養指導への取り組み
9. CAPD ハンドブック 第 3 版 栄養と食事療法	共著	平成 16 年 9 月	医学書院 CAPD ハンドブック第 3 版	腹膜透析患者向けのセルフケアテキスト。初版は 1987 年であるが、腹膜透析療法の進歩に合わせて医療スタッフや患者が腹膜透析療法をわかりやすく学ぶことができるよう改定した。 監修：小川洋史、長屋敬、編集新生会第一病院教育訓練センター 執筆者：井上啓子他 12 名 執筆担当項目：栄養と食事療法 85-107、
10.糖尿病ハンドブック 第 2 版 食事療法	共著	平成 17 年 6 月	医学書院 糖尿病ハンドブック	糖尿病患者の増加に伴いわかりやすい糖尿病患者向けのテキストの需要が高まり作成したセルフケア支援の

<p>11. 口腔ケア 基礎知識 栄養管理と口腔ケア</p>	<p>共著</p>	<p>平成 20 年 11 月</p>	<p>ク第 2 版 永末書店 口腔ケア 基礎知識</p>	<p>ためのテキスト。初版平成 10 年、医療スタッフや患者が糖尿病をわかりやすく学ぶことができるよう最新の内容に改定した。 監修：小川洋史、田中博志 執筆者：井上啓子他 10 名 執筆担当項目：食事療法 36-73、 栄養状態と口腔ケアとの関係、栄養アセスメントとは、病院で行われている栄養アセスメントの手順について解説した。 監修：日本口腔ケア学会 執筆者：井上啓子他 137 名 執筆担当項目：栄養と口腔ケア 54-55</p>
<p>12. 在宅での栄養ケアの すすめかた</p>	<p>共著</p>	<p>平成 20 年 12 月</p>	<p>日本医療企画 在宅での栄養ケア のすすめかた 訪 問栄養食事指導実 践の手引き</p>	<p>在宅訪問栄養食事指導研究会で出版していた「在宅訪問食事指導実践の手引き」を現行の介護保険制度にも対応できるようにし、最新内容に大幅に改訂したテキストである。 執筆者：井上啓子他 22 名 (担当部分) 共同研究にて本人担当分抽出不可</p>
<p>13. 透析ハンドブック 栄養と食事療法</p>	<p>共著</p>	<p>平成 21 年 9 月</p>	<p>医学書院 透析ハンドブック 第 4 版</p>	<p>初版が 1985 年の血液透析患者向けのセルフケアテキスト。透析医療の変遷に応じた、生命予後のよい透析をするには、透析治療の基本を医療スタッフおよび患者が理解することが大切となる。このテキストは、これらの基本をわかりやすく学ぶことができるように仕上げている。 監修：小川洋史、岡山ミサ子、編集新生会第一病院 在宅教育センター 執筆者：井上啓子他 22 名 執筆担当項目：栄養と食事療法 53-83</p>
<p>14. 腎不全医療における 栄養管理の基礎知識</p>	<p>共著</p>	<p>平成 23 年 6 月</p>	<p>日本メディカルセ ンター</p>	<p>「腎不全医療における栄養管理の基礎知識」の「食塩と水分」部分を担当した。 ナトリウムとは、目標食塩量、Na からの食塩換算法、食塩摂取を減らす方法、水分について、水分出納と水分摂取、食事から水分摂取を減らすためのポイント、ドライウエイトの決め方、心胸比の求め方、食塩摂取量の算出方法、食塩摂取量の事例、外食・中食の摂り方、外食・中食の一般的注意点を中心に腎不全医療において知っておかなければならない事柄を解説した。 編集：加藤明彦、市川和子 企画：臨床透析編集委員会 執筆担当項目：食塩と水分 32-39</p>

<p>15.MANUAL FOR ORAL CARE Nutritional management and oral care</p>	<p>共著</p>	<p>平成 23 年 12 月</p>	<p>クインテッセンス出版社 The Japanese Society of Oral Care</p>	<p>執筆者：井上啓子、平賀恵子</p> <p>日本口腔ケア学会が出版している口腔ケアの基礎知識の英訳本。栄養管理と口腔ケア、栄養状態と口腔ケアとの関係、栄養アセスメントとは、病院で行われている栄養アセスメントの手順について解説した。</p> <p>監修：The Japanese Society of Oral Care 執筆者：keiko Inoue 他 137 名 執筆担当項目：Nutritional management and oral care 62-63</p>
<p>16.口腔ケアガイド</p>	<p>共著</p>	<p>平成 24 年 3 月</p>	<p>文光堂</p>	<p>日本口腔ケア学会学術委員会編のテキストで、「栄養ケア・マネジメントと口腔ケア」について執筆した。栄養ケア・マネジメントとは、栄養状態で変わる口腔状態、感覚器官としての口腔と摂食、美味しい・食べやすい食事の解説をした。</p> <p>編著：一般財団法人日本口腔ケア学会学術委員会 執筆者：井上啓子他 29 名 執筆担当項目：栄養ケア・マネジメントと口腔ケア 111-114</p>